

## 第二回 昭和橋景観検討委員会

日 時：平成30年12月11日（火）18時00分～20時00分

場 所：住田町役場 1F 町民ホール

### 次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事
  - ① デザイン検討の着目点と方針
  - ② 橋の基本形状（路面高、護岸、道路縦断、幅員構成）
  - ③ 橋梁・護岸デザイン原案
  - ④ その他
- 4 閉会

## 第2回昭和橋景観検討委員会 会議結果

### 【司会】

それでは、定刻となりましたので、只今から第2回昭和橋景観検討委員会を開会いたします。私は、本日司会を務めさせていただきます、住田整備事務所次長の佐々木と申します。よろしくお願い申し上げます。

開会にあたりまして、事務局を代表して、住田整備事務所、所長の加藤よりご挨拶申し上げます。

### 【所長】

住田整備事務所、所長の加藤でございます。景観検討委員会の開会にあたりまして私から一言ご挨拶申し上げます。まず委員の皆様におかれましては大変ご多忙のところ、第2回昭和橋景観検討委員会にご出席していただき、深く感謝申し上げます。昭和橋景観検討委員会につきましては、9月に初会合させていただき、デザインコンセプト、架橋位置、幅員構成についてご議論していただきましたが、架橋位置としては現行位置とし、デザインコンセプトとしては「世田米の中心で住田町の歴史と文化を象徴し、地域とともに新たな歴史を育む橋」というテーマを定めさせていただいたところでございます。本日の委員会におきましては、前回委員会でも議論していただきました幅員構成をはじめ、橋の高さや長さといった橋の基本形状を模型やフォトモンタージュを使いまして、皆様にご提示したいと考えております。なお本日提示する案につきましては、計画の出発点となるものでございまして、デザインコンセプトを担うものになるには、この原案をベースに今後肉付けとなる部分を検討が必要になってくると考えております。本日は委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、コンセプトにふさわしい架け替え計画の立案に繋げていきたいというように考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

### 【司会】

それではこれから議事に入らせていただきますが、議事に入ります前に配布資料の確認をさせていただきます。本日の資料として、委員会次第 A4、パワーポイント説明資料 A4、A3 の比較表、委員名簿、配置図、タイムスケジュールを委員の手元にお配りしております。お配りした資料で不足等はないでしょうか。

本日の説明に関してはお手元の資料のほか前面スクリーンを使いまして、説明を行っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それではこれから議事に入らせていただきます。当委員会の規約第6条第2項によりまして、委員長が議長を務めることになっておりますので、以後の議事の進行につきましては、柴田委員長をお願いしたいと思います。柴田委員長よろしくお願いいたします。

### 【柴田委員長】

はい、賜りました。第2回目は暗くなってからの開催ということで、お忙しいところ出席いただ

きありがとうございます。今の紹介のあったように、本日も内容盛りだくさんですので、何卒よろしくお願ひしたいと思ひます。では早速議事のほうに入っていきたいと思ひます。1つ目、デザイン検討の着目点と方針について事務局の方から、説明よろしくお願ひします。

**【事務局】**

説明： 設計プロセスとスケジュール  
前回の決定事項と今回決定したい事項  
デザインコンセプト  
デザイン検討の着目点と方針

**【柴田委員長】**

はい、ありがとうございました。ただいまの説明に対して質問、意見、ございますか。

**【委員】**

スケジュールに関して、次回で予備設計レベルの最終案を決定することになっているが、第3回は景観委員会の最後になる。それ以降はどうなるのか。それ以降の内容をどう伝えいくのか。

**【事務局】**

第3回で基本的なデザインを提示する予定だが、委員会で決まり切らないことやその他橋の整備に合わせて考えなければならない課題というのも出てくると思っている。設計プロセスというのは、工事が終わるまで続けていくものなので、どうやってこの橋を考えてきたのかを皆様にお伝えしていかなければならないと考えている。スケジュールとしていつ第4回を行うかということは、今の段階で話すことはできないが、引き続き皆様からご意見伺う機会を作ればと思っている。

**【委員】**

了解しました。

**【柴田委員長】**

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。  
それでは次に2つ目、橋の基本形状について事務局から説明お願ひします。

**【事務局】**

説明： 橋面高の設定  
護岸のイメージ検討  
河床安定化のイメージ  
道路縦断の計画、幅員構成の比較

**【柴田委員長】**

前回宿題だった幅員構成についてしっかり検討いただいたと思います。路面高、護岸など今回の整備に伴い川も変わっていくということ、道路縦断勾配により視距が確保できることなど、良かったなあという印象を持っている。質問いかがでしょうか。

**【委員】**

私の方から3つほどあります。

1つは、P11～14あたり 橋の両側沿い、コンセプトに謳われている自然環境をより豊かに、しかも人間に身近に感じられるように考えたいということだが、新しい昭和橋の両側どのくらい、何mくらいを対象としているということなのか。将来に向けてはより広い範囲で考えていかないと変わらないのではないかと、その環境をどのくらいの範囲で考えているか。

2つ目は、P25 幅員構成の一番狭い幅は4mくらいで現状と一緒に、一番広い案は7.8mくらいになっているが、橋自体の良さ悪しの検討ということだが、+3.8m広げた場合など接続する道路の擦り付け方、どんなように擦り付ける可能性があるのかをお聞きしたい。

3つ目は、P29、30あたり 橋の上に電線が架かっているが、景観を気にして議論する中で、架設のことも考えると邪魔になる、いっそのこと橋桁の下に通すことはできないのか。

**【委員】**

関連があるなあということで質問したいと思います。人々が川に近づいて散策したり、触れ合える河川空間、親水空間をつくるということだと思うが、何か所くらいそういった空間を設けようと思っているのか教えていただきたい。

**【事務局】**

護岸の整備範囲は、昭和橋の架け替えに関して、橋梁の前後10mくらいが河川構造令にあるが、既存の護岸の擦り付けを考慮しなければならないので、今のブロック積みの範囲までは付け替えると考えている。前後の護岸まで改修するかは難しいところがあり、今回の架け替えに合わせてではなく、将来にできればと考えている。理想形に近づけていく努力をしたいと思う。親水広場は清水橋と昭和橋の間を重点区間として親水広場を考えてはいるが、具体的なところは未定である。電線の話は、架設時にも支障になることが考えられるので、管理者と協議の上、今後調整していきたいと思う。

**【事務局】**

どのように周辺の道路とつなげるかということは、役場側は上流側の歩道に擦り付ける、世田米側は地権者のご理解が必要なので、そのあたりで変わってくる。役場側に合わせて、世田米側も上流側の歩道を付け、擦り付けていきたいと思っている。

**【柴田委員長】**

電線を地覆に隠したりすることは技術的に可能か。

管理のしやすさがあるとは思いますが、事例はよくある。

**【事務局】**

技術的には可能だと思うが、どう管理していくかということはあるので、必ずしも技術的だから可能ということだけではない。

費用のことなどもある。管理者の負担もあるので、そういったあたりを加味して判断したいと思う。

**【柴田委員長】**

橋の印象に関わる重要なデザインポイントなので、是非、積極的に検討してください。

その他いかがでしょうか。

**【委員】**

河川環境のことで、必要最小限の擦り付けということだが、資料の中ではすばらしい案に整備されるように思えた。上流側は 90m、下流側は 60m くらいの範囲で示されているようだった。橋脚の部分は、護床工は設置されるのか。それに伴って魚族の生態が変わってくる心配がある。そのあたりを教えていただきたい。上下流何 m くらいまで川をいじることを考えているか。

**【事務局】**

護岸を整備する範囲は、資料 P14 の範囲くらいは工事していきたいと考えている。擦り付け範囲としてこのくらいの範囲は工事しないといけないと思っている。橋脚部分に護床工は必要ないと考えている。

**【委員】**

護床工に関しては理解しました。もう 1 つ、上流側、下流側ともに水制工が示されているようだが、どのような形を考えているのか。自然石などを使って検討しているのか？

**【事務局】**

P21 右下の写真のような自然素材を使ったものを考えている。自然石を使ったようなもので検討しています。

**【委員】**

2 点感想、意見です。

川に対するやさしさ、護岸と水との関わり、非常に丁寧な対応をしていただけるということで、昭和橋の架け替えにプラスとしてそもそもの気仙川をもとの姿に戻すというすばらしい提案なので、昭和橋の架け替えが終わっても、継続して取り組んでいただきたい。

2 点目は、幅員構成に関することで、前回から検討を進められて、事務局推奨案の 2 歩道 + 1 車線に私は賛同します。安全であることと上流下流とも歩道は歩行者が川を見ることが橋として大

事である。P26 の車両用防護柵をどちらかに使うと既製品を使うしかなく、今の昭和橋に代わるやさしいデザインとならない。自由度のある高欄とすることで、デザインの詰めは必要だが、親しみのある昭和橋とすることが可能である。

**【委員】**

P27 ケース 3-1 1 車線 + 2 歩道の自転車用柵とは、歩行者用、自転車用ということか。自転車は車道を走るということではないのか。

**【事務局】**

歩道に自転車が走ることもあるので、柵としては自転車が落ちないように配慮して設計している。歩行者にも自転車にも対応している。

**【委員】**

住田町の大きな橋はほとんど親柱があるが、この昭和橋には親柱はないのか、必要ないということか。

**【柴田委員長】**

後のデザインの話をするところで話題にしてもいいでしょうか。

そうすると、

P31 幅員構成の比較表があるが、幅員構成については、ケース 3-1 で進めていくということでもいいでしょうか。(異議なし) ありがとうございます。では、デザイン案について説明をお願いします。

**【事務局】**

説明： 橋梁形式の比較、選定

橋梁・護岸デザイン案

プレビーム合成桁を橋梁形式の推奨として

**【柴田委員長】**

親柱については他のものに含めて検討されているということでよかったですか。

今の昭和橋の親柱はとてもきれいで大事だと思っているので、しっかりご検討いただきたいと思っています。

**【事務局】**

はいそうです。

**【委員】**

先ほどの親柱についてはわかりました。

上部工の断面図に添架について検討されているようだが、今の昭和橋は、水道管は添架されてい

るのか。

**【事務局】**

水道管についてはない、将来の計画もない。

**【柴田委員長】**

ここに電線も添架できるのではないか。ここもご検討いただきたい。附属物など非常に印象が変わるので。

**【委員】**

3点プラスαくらいあります。

P33 比較表は合理的な説明で、プレビーム合成桁を選定されたことはいいと思う。桁間に電線を通すなどご検討いただければと思う。

今の昭和橋の親柱の上にある照明のように、夜間の照明は重要で、夜の安全性と景観性、蛍など生態系を踏まえて照明計画を慎重に親柱のデザインと合わせて行っていただきたい。

P36、37 この状態で町民の皆様にイメージが伝わっていくのはいかがかなと思ったところがあり、護岸のイメージについては、川の自然を取り戻すことからこの表現では損する印象を受けている。

P38、39 若者が渡っているイメージがあるが、老人や小学生を添景に使ってはいかがか。

手元にある別紙A3比較表について、点数がつけられているが、P5 デザインコンセプト、P7 着眼点など橋のデザインを考えていく上で重要なキーワードが充実しているので、左側の比較項目にそういったコンセプトワーク、キーワードを入れてまとめると説得力のある資料となるのではないか。

**【委員】**

大月委員と同じ照明についての意見でした。

**【柴田委員長】**

おっしゃる通りだと思います。夜間の照明など十分検討していただきたい。こういった資料は独り歩きするものなので、だれが見てもよくなると思えるように、情報の漏れがないように作っていくというのは大事だと思います。

**【委員】**

ケース 3-1 を支持したいと思うが、橋の部分の2歩道は可能だと思うが、地権者との関わり、協議が進んでいないこともあり、周辺の道路と合わせてどう進めていくのか。絵に描いたもちにならないか。橋について進めるだけでなく、周辺も進めないと、橋だけ広げても、安全性など不安なところ、心配である。

工事に伴う1年～2年くらいの期間に、仮橋はどこにつけるのか、先に示すべきではないか。

**【事務局】**

所有者のご協力によるが、上流側の歩道は町側、役場側に接続させたいと考えている。下流側はそのまま延長させるのか、それとも何か工夫していくのか考えていきたいと思っている。まだ具体的な用地交渉ができる段階には至っていない。地権者の方に提示できる段階になったら、時間がかかることではあるが、進めていきたいと思う。今の段階では、できるだけ情報提供はしていきたい。橋と同時かもしくは少し遅れて町道の方も整備していきたい。その際、地権者からの反対等があった場合は、長期的に対応をしていきたいと思う。

**【事務局】**

架け替えに当たっては、現状の橋がなくなる期間は、歩行者用の仮橋は必要だと思う。まだ具体的にどこというのは示すことができないが、今の昭和橋に近接すると工事に支障となるので、今の橋とはある程度離れた位置で、町道との接続を考えた線形となると思う。

**【委員】**

橋梁形式について、プレビーム案でいいとは思いますが、シンプルでモダン、橋脚が1つとなると、今の昭和橋にあるような味わいなど、今後の架け替える橋にも必要でどこまでできるか危惧している。高欄を住田町らしい、ここにしかないオンリーワンなもの、こだわったものとする、コストがかかるので、どこまでできるのか聞きたい。歩車道の分離で25cmの立ち上げで車が入ってくることを防止しているが、歩行者や車いすが車道側に落ちたりしないか、歩道面より少し上げるとか、暗いので歩行者に対してフットライトなど必要がありそう、これらはグレードアップとなるようなことになるが、どのくらいゆとりがあるかニュアンスをお聞きしたい。

**【事務局】**

できるだけいいものをと、際限なくということはありませんので、今の時点でなかなかどのくらいのレベルでとは言いきれないが、事業として適正な範囲でどのくらい支出できるかは住田町と話し決めていきたいと思う。コスト的な制約がでてくる可能性もある。そういった部分も踏まえて次回以降で話し合っていきたい。

**【委員】**

今回は付属施設等のデザイン提案も含まれているので、コストも含めたデザイン提案、やっぱりこれはできなかったとならないような進め方を取ってほしいと思う。

**【委員】**

大した費用ではないので取り組んでいただきたいこととして、新しい橋になっても昭和橋、せいはし、親柱に取り入れてほしい。まち歩きの際でも2つの昭和橋の橋名板が好評なので。

**【事務局】**

名称が昭和橋となるかは議論した方がいいかもしれないが、もしそうだとしたら、「せいはし」



というひらがなを残せるよう検討していきます。

**【柴田委員長】**

コストの話もそうだが、今の話のような活性化、効果、ベネフィットといったようなものも検討いただきたい。

**【委員】**

車いすの人や乳母車を押す人に対して、擦り付けの急になっているところは8%くらいになり、上がることが難しいので、そのあたりを三段落としたりとか、安全性、利便性、譲り合い精神と謳っているところもあるが、やさしさを持った構造になっていないと思うので、そのあたりも検討いただきたい。

**【柴田委員長】**

十分考えていただきたいと思う。

**【委員】**

現状の親柱を保存して残すなどの話もあったので、次回以降そういったあたりも触れて、進めていただきたい。

**【柴田委員長】**

先ほどの親水公園にという話もあり、何かしら残したいと思う。

**【委員】**

どこか別のところに記念に置くとか、橋名板のプレートを展示するなどもあるのではないかな。

**【柴田委員長】**

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

**【事務局】**

3回目の委員会の日程は2/19としていたが、よろしいか。

**【柴田委員長】**

時間帯はいつごろとするか、まちづくり会議と合わせて調整したいと思います。夕方前15時～17時できればと思っている。

それでは議事はすべて終了ということで、マイクを事務局にお返ししたいと思います。

**【司会】**

委員の皆様、熱心なご議論頂きまして、大変ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。